

一般社団法人日本フライングディスク協会
事業報告書（2021年度）

第9期 2021年4月1日～2022年3月31日



<目次>

目次	1P
概要	2P ~
1. 代表理事	4P
2. 事業本部	4P ~
2-1. 競技会		
2-2. 日本代表		
2-3. 指導普及		
2-4. 競技ガバナンス		
3. 管理本部	13P ~
3-1. 法務		
3-2. 財務・税務		
3-3. 経営企画・広報		
3-4. 総務		

<概要>

会員数

※2022/3/31 時点の年齢で換算。1人1アカウント。

性別/年齢	-12	13-15	16-18	19-22	23-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-	合計
男性	12	11	13	1,830	577	208	148	63	29	9	0	2,900
女性	4	4	13	1,193	299	62	30	11	7	2	0	1,625
その他	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	16	15	26	3,025	876	270	178	74	36	11	0	4,527

会員種別

※1人が複数の会員種別を持っている場合がある。

	人数
A会員	4,118
A会員（18歳未満）	57
B会員	492
合計	4,667

チーム登録数

	オープン	ウイメン	ミックス	合計
大学	80	63	6	149
クラブ	42	15	22	79
ユースクラブ	6	0	6	12
合計	128	78	34	240

社員数

区分	人数
社員	52名

社員総会

回数	日程	開催場所	出席人数
定時社員総会	2021年4月25日	オンライン形式	43名

理事会

回数	日程	開催場所
第1回通常理事会	2021年4月25日	オンライン形式
第2回臨時理事会	2021年5月12日	オンライン形式
第3回臨時理事会	2021年5月29日	オンライン形式

第4回臨時理事会	2021年6月14日	オンライン形式
第5回臨時理事会	2021年7月2日	オンライン形式
第6回臨時理事会	2021年7月20日	オンライン形式
第7回臨時理事会	2021年8月25日	オンライン形式
第8回臨時理事会	2021年9月27日	オンライン形式
第9回臨時理事会	2021年10月25日	オンライン形式
第10回臨時理事会	2021年11月29日	オンライン形式
第11回臨時理事会	2021年12月27日	オンライン形式
第12回臨時理事会	2022年1月26日	オンライン形式
第13回臨時理事会	2022年2月15日	オンライン形式
第14回臨時理事会	2022年3月3日	オンライン形式
第15回通常理事会	2022年3月28日	オンライン形式

執行体制 / 組織図

理事	15名
監事	2名

役職	氏名
会長	師岡 文男
副会長	齋藤 晴義

担当職務	氏名
代表理事	師岡 文男
事業本部長	角田 信彦
管理本部長	齋藤 晴義
競技会担当（事業本部）	鈴木 誠司
日本代表担当（事業本部）	藤岡 あゆみ
指導普及担当（事業本部）	牛来 明日香
競技ガバナンス担当（事業本部）	弓田 恵里香
法務担当（管理本部）	森山 真稔
財務・税務担当（管理本部）	丹治 憲明
経営企画・広報担当（管理本部）	齋藤 勇太
総務担当（管理本部）	齋藤 勇太
担当を持たない理事	井上 亨、大原 久幸、彦次 佳、森脇 崇、前田 尚希
監事	藤本 淳也、志澤 徹

<1. 代表理事：師岡理事>

概況

2021 年度は、コロナ禍で競技会を開催できず、会員数が半減、収支も赤字に転落して政策金融公庫から 4,500 万円を借入した前年度からの復興の第一歩を踏み出した 1 年であった。コロナ禍が完全には収束しない中ではあったが、ほとんどの大会を再開させ、会員数もコロナ禍前の状態に復活、政策金融公庫以外からの借入金の返済を完了させても黒字決算を達成させた。経営の徹底的合理化、規約の整備、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進をはかり、理事・委員全員が働き情報を共有する改革を確実に進める年度となった。

<2. 事業本部：角田理事>

概況

本年度は、コロナ禍の影響により前年度の事業（大会）の中止、延期が相次ぎ、協会の収支が大幅に悪化、また、事務員 2 名の退職もあり、事務局機能低下、事業対応力の低下が発生している中でのスタートとなった。Web 会議を最大限に活用し、理事会、各委員会等の会議を頻回に開催することで、各種課題の抽出、改善策検討等が迅速に実施され、下記の検討事項、改善策実行を事業の質を落とすことなく、また、支出を極小化させ実施することができた。コロナ禍での大会開催可否の検討、新型コロナウイルス感染防止対策を実施すると共に、事業収支を綿密に試算した上での事業開催、運営スタッフの業務分担検討、副業パートナー制度導入、大会備品移送システム構築等 2022 年度は WG 派遣が予定されている為、派遣費用支出が増加する年度である。より一層、事業収支を精査し運営する必要がある。

<2-1. 競技会：鈴木理事>

概況

2021 年度予定されていた大会は「個人選手権大会」（ガッツの 1 大会も）以外は開催することができました。コロナ禍の中、選手・スタッフに負担をかけてしまいましたが、全大会で延べ約 8500 名もの参加者がありましたので、今後のフライングディスク競技の普及につながると感じております。

主催大会

1. 第 46 回全日本アルティメット選手権大会 予選
 - A) 日程 2021 年 9 月
 - B) 会場：全国 5 地区
 - C) 参加数：103 チーム / 1,880 人
2. 文部科学大臣杯第 46 回全日本アルティメット選手権大会 本戦
 - A) 日程：2021 年 10 月 9 日～23 日
 - B) 会場：福島県広野町 J-VILLAGE

- C) 参加数：32 チーム / 691 人
 - D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第 3 位 / SOTG 賞
 - オープン部門：文化シャッターバズバレッツ / Rascals / Nomadic Tribe / 博多ハッカーズ
 - ウィメン部門：SWAMPYBARG / MUD / TOKYO MARVERICKS / Ratolowlezz
3. 第 47 回全日本ガッツ選手権大会
- A) 日程：2022 年 3 月 26 日（土）～27 日（日）
 - B) 会場：静岡県御前崎市 御前崎 NEXTA フィールド
 - C) 参加数：8 チーム / 54 人
 - D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第 3 位 / SOTG 賞
 - オープン部門：SUPER G-MEN / 80's / PACK / JAVA
4. 第 46 回全日本フライングディスク個人総合選手権大会
- A) 開催なし
5. 第 32 回全日本大学アルティメット選手権大会 予選
- A) 日程：2021 年 10 月～11 月
 - B) 会場：全国 6 地区
 - C) 参加数：128 チーム / 2,683 人
6. 第 32 回全日本大学アルティメット選手権大会 本戦
- A) 日程：2021 年 12 月 11 日（土）～12 日（日）
 - B) 会場：静岡県掛川市 つま恋リゾート彩の郷
 - C) 参加数：32 チーム / 913 人
 - D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第 3 位 / SOTG 賞
 - オープン部門：早稲田大学 SONICS / 同志社大学マジック / 静岡大学 GLANZ / 明治大学フリーフライヤーズ
 - ウィメン部門：日本体育大学 BARBARIANS / 法政大学 ASA-MAC'S / 成蹊大学 LIBEROS / 東北学院大学アンチエイ
7. 第 4 回全日本 U21 アルティメット選手権大会 予選
- A) 日程：2022 年 2 月～3 月
 - B) 会場：全国 6 地区
 - C) 参加数：99 チーム / 1,498 人
8. 第 4 回全日本 U21 アルティメット選手権大会 本戦
- A) 日程：2022 年 3 月 19 日（土）～20 日（日）
 - B) 会場：静岡県掛川市 つま恋リゾート彩の郷
 - C) 参加数：31 チーム / 565 人
 - D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第 3 位 / SOTG 賞
 - オープン部門：GONA / 関西学院大学 ARROWS / 早稲田大学 SONICS / 東京外語大学マックス・京都大学 BREEZE

- ウィメン部門：法政大学アサマックス / 國學院大學トライアンフ / 早稲田大学ソニックス / 佛教大学 Sallian∞Joseph

9. 第9回全日本ミックスアルティメット選手権大会

- A) 日程：2021年12月4日（土）～5日（日）
- B) 会場：静岡県掛川市 つま恋リゾート彩の郷
- C) 参加数：21チーム / 425人
- D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第3位 / SOTG賞
 - ミックス部門：119ultimate / CRAZY / RATELS / 彩

10. 第9回全日本マスターズアルティメット選手権大会

- A) 日程：2021年10月30日（土）～31日（日）
- B) 会場：静岡県掛川市 つま恋リゾート彩の郷
- C) 参加数：6チーム / 93人
- D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第3位 / SOTG賞
 - マスターオープン部門：大阪キングス / ノマスター / UrotaS / ビアーズ・ディスクマニア

11. 第6回全日本ビーチアルティメット選手権大会

- A) 日程：2021年11月13日（土）
- B) 会場：和歌山県白浜町 白良浜
- C) 参加数：5チーム / 53人
- D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第3位 / SOTG賞
 - ミックス部門：sloth force / CRAZY / GORAIKOH / SubRosa・KEENNotes

12. 第2回全日本大学ミックスアルティメット選手権大会

- A) 日程：2022年3月12日（土）～13日（日）
- B) 会場：山梨県山中湖村 井戸前旅館
- C) 参加数：6チーム / 84人
- D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第3位 / SOTG賞
 - ミックス部門：大阪大学 ENN / 西九州大学 joyful / 愛知大学 NEXUS / 西九州大学 joyful・酪農学園大学 Liberty

13. 第3回全日本ガッツクラブチーム選手権大会

- A) 開催なし

14. 第3回全日本大学ガッツ選手権大会

- A) 開催なし

15. JAPAN ULTIMATE OPEN 2021

- A) 開催なし

16. 第8回全国ユースアルティメット選手権大会

- A) 日程：2022年3月5日（土）～6日（日）
- B) 会場：山梨県山中湖村 井戸前旅館

- C) 参加数：13チーム / 198人
- D) 表彰：優勝 / 準優勝 / 第3位
 - 小学生高学年部門：Migrant Kids / EIHIRE / アクティブ
 - 中学生部門：EIHIRE / 石垣島アスリート カヤパニーシャ / YSM

17. 2021U-23 アルティメット地区選抜対抗戦

- A) 開催なし

<2-2. 日本代表：藤岡理事>

概況（全体）

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、開催予定だった国際大会について、1大会がキャンセル、2大会が延期となった。本年度に計画されていた日本代表派遣は下記の通り。

大会名	開催日程	開催地
ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 ⇒ 2026年に延期予定	2021年5月	日本・宇治市
WFDF2020 世界アルティメット&ガッツ選手権大会 ⇒ Canceled	2021年7月	オランダ・レーワルデン
第11回ワールドゲームズ（フライングディスク） ⇒ 2022年に延期	2021年7月	アメリカ・バーミングハム

概況（カテゴリー別）

1. WG

- A) スタッフ
 - 監督：岡田真人
 - コーチ：藤岡あゆみ、阿部洋平
 - トレーナー：菅正巳

B) 活動実績

開催日程	名称	会場
2021年5月29日	スローオフミーティング	オンライン
2021年6月12日	スローオフダッシュミーティング①	オンライン
2021年6月26日	スローオフダッシュミーティング②	オンライン
2021年7月10日～11日	第1回選考合宿	山中湖井戸前グラウンド
2021年8月25日	ブルックミーティング	オンライン
2021年9月4日	サイドラインミーティング	オンライン ※合宿中止
2021年10月30日～31日	第2回選考合宿	山中湖井戸前グラウンド

2021年11月13日～14日	第3回選考合宿	山中湖井戸前グラウンド
2022年1月9日～10日	第4回選考合宿	リソル生命の森 ※8日中止
2022年2月11日～13日	第5回選考合宿	富士川緑地公園
2022年3月12日～13日	ドリームカップ出場	富士川緑地公園

2. U20

A) スタッフ

- 監督：宮越大輔（メン部門）、那須美宣（ウイメン部門）
- コーチ：島彰吾（メン部門）、三井えみ里（ウイメン部門）

B) 活動実績

開催日程	名称	会場
2022年1月22日～23日	第1回強化練習会	リソル生命の森
2022年3月12日～13日	ドリームカップ出場	富士川緑地公園

3. WBUC

A) 活動実績

- 2021年12月21日 渡航説明会（オンライン）
- 本大会は新型コロナウイルス感染症の影響のため開催中止

<2-3. 指導普及：牛來理事>

概況（全体）

2週間に1度のペースで委員会会議を開き、社会情勢の変化に対応しつつ活動実施を進めた。JFDA 公認指導者資格の認定講習会は、本協会主催の実施はなく、実施要請があった認定講習会の対応のみとなった。この2年間実施できていない資格認定講習会については、追試験資格有効期間含め検討し、次年度に持ち越すこととした。全国ユースアルティメットは、イベントとしての全国大会として第8回目の実施となった。日程や場所は例年同様とはいかなかったが、U21 関東地区予選と同時開催ができた。指導者派遣は、主に教育現場からの要望に応えるべく、有資格者を講師として多くの現場に派遣した。例年以上に件数が増えてきているので、次年度以降は更に都道府県協会とも協力しながら講師派遣をしていきたい。また、「FD アカデミー」と銘打ち、月に1回のオンライン情報交換会という形で指導者育成を試験的に行った。次年度以降、本格的に事業として運用していきたい。普及活動は、年度末にかけてイベントの実施要請が増えてきたため、スタッフ派遣等を行った。

概況（分野別）

1. 指導者資格

A) JFDA 公認指導者資格：ディスクアドバイザー認定講習会の実施

開催日程	テーマ	参加人数
2021年5月15日(土)	#mamaline	15名
2021年6月12日(土)	#mamaline	9名
2021年7月17日(土)	#mamaline	11名
2021年8月21日(土)	#mamaline	14名
2021年9月11日(土)	#mamaline	9名
2022年12月11日(土)	#mamaline	3名

※参加人数は女性委員会メンバーも含む

B) SNSでの情報発信（女性委員会のInstagramアカウント）

- 委員会の定例ミーティングの報告：毎月実施している委員会の会議の様子（スクリーンショットを撮影）や内容を簡単に紹介している。
- 関係団体等からの情報の紹介：JOC等からのセミナーの案内などを紹介している。

C) チーム情報の発信

- 各チームの紹介およびメンバー募集に役立ててもらった意図で、全国各地で活動しているチームから情報を集め、チーム紹介シリーズとして委員会のInstagramにて情報発信を行った。これにより、女性委員会の存在や活動を広く認識してもらうことにも繋がり、フォロワー数が増える結果となった。
- 紹介実績：ウイメンチーム（10チーム）、ミックスチーム（20チーム）

D) 不定期のイベントの開催

- 第1回ミックスチームサミット：9月25日（土）
5チームから8名にご参加いただき、ミックスチームの運営の難しさや魅力、今後の課題や展望等について語り合いました。
- 国際女性デーに合わせた企画（動画配信）：3月8日
2022年4月から「女性委員会」を「ダイバーシティ委員会」へ名称変更するため、「フライングディスク界におけるダイバーシティ（多様性）について語ろう」と題した4部構成の動画を作成した。それを3月8日に合わせて配信し、「ダイバーシティ」について考えるきっかけになればと考えている。

2. アンチ・ドーピング委員会

ドーピング検査や、定期的な研修会の参加、本協会選手への適正な情報提供については例年通り行うことができたが、新型コロナウイルスの影響により現地でのアウトリーチ活動や強化選手向けの研修会等啓発活動については実施することができなかった。詳細については下記の通り。

A) 啓発・教育活動

- WFDF2021 世界アルティメット&ガッツ選手権大会および U24 世界アルティメット&ガッツ選手権大会 出場予定選手の強化合宿会場において対面研修会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を受け実施を中止した。
- 全日本アルティメット選手権大会をはじめ各地での大会へスポーツファーマシストを派遣しアウトリーチ活動を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を受け実施を中止した。

B) 研修会

下記の通り JADA やスポーツ庁主催の各種研修会へ参加した。

- アンチ・ドーピング教育会議：6月11日～7月12日 / オンデマンド配信 / 3名
- 2022 禁止表国際基準と TUE 申請のポイント：12月10日～オンデマンド配信 / 3名
- JADA RTP/TP 新制度説明会：12月23日～オンデマンド配信 / 2名

C) 情報提供

下記の通りスポーツファーマシストによる選手への情報提供を行った。

- 本協会選手からの薬剤使用に関する問い合わせ：3件
- TUE 申請に関するサポート：1件

3. SOTG 委員会

SOTG 委員会では、設置当初より「SOTG の普及および啓発に関する事業」「競技会における SOTG 管理に関する事業」「ゲームアドバイザーの派遣および育成に関する事業」「公式競技規則に関する事業」の4種類の事業を実施している。事業ごとの2021年度の概況は以下のとおりである。

A) SOTG の普及および啓発に関する事業

- 「Monthly Spirit & Rule Meeting」を開催（計13回）
- 日本スポーツ協会発行『Sport Japan 2021年3・4月号(vol.54)』に「だから、アルティメットは自分たちで裁く！根底にあるのは、“スピリット・オブ・ザ・ゲーム”」を寄稿
- 日本スポーツ協会主催「フェアプレイ会議2021」に委員2名が出席

B) 競技会における SOTG 管理に関する事業

- 以下の競技会にスピリットディレクターを配置
 - ・文部科学大臣杯第46回全日本アルティメット選手権大会本戦・決勝戦
 - ・第6回全日本ビーチアルティメット選手権大会
 - ・第9回全日本ミックスアルティメット選手権大会
 - ・第32回全日本大学アルティメット選手権大会本戦・決勝戦
 - ・第4回全日本 U21 アルティメット選手権大会本戦・決勝戦

C) ゲームアドバイザーの派遣および育成に関する事業

- 以下の競技会にゲームアドバイザーを派遣
 - ・文部科学大臣杯第46回全日本アルティメット選手権大会本戦・決勝戦
 - ・第32回全日本大学アルティメット選手権大会本戦・決勝戦
 - ・第4回全日本 U21 アルティメット選手権大会本戦・決勝戦

- 第4回全日本U21アルティメット選手権大会九州・沖縄地区予選にて「2021年度JFDA公認ゲームアドバイザー講習会」を実施

D) 公式競技規則に関する事業

- WFDF Rules of Ultimate 2021-2024 を翻訳し、「WFDF アルティメット公式ルール 2021-2024 年版 日本語訳 ver.1.0」を発行
- 「2021年アルティメット公式ルールテスト」を作成し、各種全日本選手権（アルティメット）出場者への受験を促進

4. 環境委員会

A) 事業領域の策定及び関連団体との調整

- 環境委員の選出：6月 環境委員を新たに2名選出、環境委員会開催（Zoom）
- 環境報告書の作成及び、JOCへの提出：6月に作成・提出済み
- スポーツと環境カンファレンス2022への参加：令和4年3月12日（土）13:00～17:00（Zoom / 3名）

環境保護の必要性やSDGsについて考え、どのように実践するかを学ぶことや、啓発・実践活動に関する最新情報の提供を目的としたカンファレンス。主催：公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、後援：スポーツ庁、環境省。参加者：日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、各中央競技団体、JSPO 公認スポーツ指導者等約500名

B) 協会事業における啓発活動

- 地区予選の推進：コロナ感染防止対策と合わせ推進。各選手の移動距離の短縮に貢献した。但し、関西地区の開催地について課題が残る。
- 出張による環境負荷低減の為、地方在住理事及び委員、都道府県協会幹部とのZoom会議推進：コロナ禍の影響により、一気に推進され、ほぼ全ての会議がリモート会議にて開催できた。

C) 関係団体等への依頼

- その他については、コロナ禍が継続したこともあり、具体的な活動は実施できなかった。

<3. 管理本部：齊藤晴義理事>

概況

今年度の管理本部計画方針である「当協会運営の基盤整備」の進展がみられた。コロナ禍影響をまともに受けた「財務状況の立て直し」「事務運営体制の立直し」をはじめ、「ガバナンスコード」「各種規程」の制定、昨年度から採用した「執行理事職の役割分担」など、予定以上の成果を得られた。

<3-1. 法務：森山理事>

概況（全体）

今年度は、ガバナンスコード対応ならびに各種規程整備を実施した。ガバナンスコード対応に関しては、2021年10月25日付けで自己説明資料を当協会WEBサイトにて公表するとともに、公益財団法人日本スポーツ協会へ提出した。進捗状況については、2020年度実績で30.2%だった対応率が46.5%に上昇した。各種規程整備に関しては、一部の規程の改正を行ったほか、公益通報規程、職員就業規則、事務局規程、服務規程、職員給与規程、複業パートナー規程を新たに整備した。

1. ガバナンスコード対応率の推移

進捗	対応完了		一部完了		未対応		対応不要	
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
対応済項目数	13	20	12	6	17	16	1	1
対応率	30.2%	46.5%	27.9%	14.0%	39.5%	37.2%	2.3%	2.3%

2. 今年度の規程整備の状況

制定／改正	規程名称	制定／改正日	改正の概要
改正	懲罰規程	2021年4月1日	公益財団法人日本スポーツ仲裁機構によるスポーツ仲裁の活用に関する条項の追加 など
改正	一般社団法人日本フライングディスク協会定款	2021年4月25日	理事の執行体制の明記 など
改正	専門委員会設置規程	2022年4月1日	各委員会を管掌する理事に関する条項の追加 など
改正	事務処理規程	2021年8月25日	各種証明書及び認定証の発行に関する条項の追加
改正	事務処理規程	2021年8月25日	個人情報取扱責任者の変更（専務理事⇒総務担当理事）
改正	謝金規程	2021年9月1日	謝金の支給対象の再整理
改正	旅費規程	2021年10月15日	日当に関する規定の変更

改正	専門委員会設置規程	2022年2月15日	委員会の名称変更（女性委員会⇒ダイバーシティ委員会）
制定	公益通報規程	2021年4月1日	－
制定	職員就業規則	2022年3月28日	－
制定	事務局規程	2022年3月28日	－
制定	服務規程	2022年3月28日	－
制定	職員給与規程	2022年3月28日	－
制定	複業パートナー規程	2022年3月28日	－
改正	事務処理規程	2022年3月28日	別表の修正
改正	旅費規程	2022年3月28日	外出・出張に関する条項の削除 （職員就業規則に移行）
改正	懲罰規程	2022年3月28日	職員の懲戒に関する条項の削除 （職員就業規則に移行）

<3-2. 財務・税務：丹治理事>

概況（全体）

今年度は、理事、社員等に対し財務・税務に関する理解を深めるための公開セミナーを開催した。

概況（分野別）

1. 協会活動公開セミナー

開催月	テーマ
9月	財務に関する理解を深める
12月	一般社団法人の税金」
1月	財務に関する理解を深める2

<3-3. 経営企画・広報：齋藤勇太理事>

1. 経営計画の作成・監査・改善

A) 協会活動公開セミナー

フライングディスク関係者内で当協会の活動に関する共通認識を形成し、より建設的かつ効果的な協会運営に関する議論の基盤作りとして、8月より毎月実施をした。対象者は JFDA 理事・JFDA 監事・JFDA 社員・都道府県 FD 協会関係者・専門委員とした。

開催日程	テーマ
2021年8月25日	NFのコンプライアンスとガバナンス（法務）

2021年9月27日	財務に関する理解促進（財務・税務担当理事）
2021年10月25日	アンチ・ドーピングについて（競技ガバナンス）
2021年11月29日	SOTGについて（競技ガバナンス）
2021年12月27日	一般社団法人に関わる税金について（財務・税務）
2022年1月26日	財務（財務・税務）
2022年2月15日	他スポーツ中央競技団体の財務状況について（経営企画・広報）
2022年3月28日	他スポーツ中央競技団体の財務状況について（経営企画・広報）

B) 事業計画 KPI の策定・運用

「2021-2024 年度」を対象期間とし、各担当部門における KPI 項目の策定・公開をおこなった。

C) 協会理念の策定

今年度中に策定プロセスを開始予定であったが、次年度への繰越実施とした。

2. 加盟団体及び都道府県 FD 協会との調整（FDPAC 会議）

A) 加盟団体等との折衝

日本スポーツ協会（JSPO）や日本オリンピック委員会（JOC）、スポーツ庁等との会議に参加。特に現在の中央競技団体に対する政策の1つである「経営力強化」の文脈における情報共有の場が増えており、日本スポーツ協会イノベーション推進室やスポーツ庁からのヒアリングを受けた。また、官公庁委託事業として「令和3年度スポーツ産業の成長促進事業「中央競技団体の経営力強化推進事業（戦略的普及・マーケティングの実施）」と「地域の観光の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業（第2次）」の2件に応募したが、いずれも不採択となった。

B) 都道府県 FD 協会との折衝

新しい会員管理システムを導入したことにより、各都道府県協会ごとの会員数についてはリアルタイムに、還元金については月次での報告ができるようになった。また、都道府県 FD 協会間の定期的な意見交換の場として「FDPAC 意見交換会」をオンライン形式にて開始し、原則として毎月の実施をしている。

3. 協会情報アーカイブ

A) アーカイブ資料の整理

協会備品の整理をおこない、将来的なアーカイブ資料のデジタル化に備えた準備を進めている。VHS 形式映像のデータ化は完了したが、Beta 形式等の映像については未実施。冊子についてはほとんどのものがデータ化未実施のため、次年度以降にて対応を検討したい。

4. 広報ツール（WEB サイト / SNS / 各種メディア）作成・発信

A) SNS

Facebook・Twitter を活用して、協会公式情報を配信、TikTok は過去のアーカイブ映像を活用して、ショートクリップを配信。特に Tiktok はフォロワー以外へのリーチが可能な SNS のため、現時点でフライングディスクへの認識度が低い層へのアプローチツールとして活用している。

区分	フォロワー数	総再生回数
Facebook	5,300	—
Twitter	6,500	—
YouTube	7,200	340 万回
TikTok	106,700	5,364 万回
協会公式 WEB サイト	約 100 万回（年間 PV）	—

※2022 年 2 月時点

B) プロジェクト WEB サイト

- Prologue of Flying Disc

デジタル化推進委員会（DX 委員会）の活動として、フライングディスクに関する全国的な情報を集約可能な「Prologue of Flying Disc」を 2021 年 10 月に公開。主に SNS を活用して各地のフライングディスク活用実施団体にアプローチを行い、情報の掲載依頼。半年で約 150 イベントの情報を掲載。DX 委員会の Twitter では活用実施団体の SNS をフォロー・リツイートし、情報流通を促進している。構築にはノーコードツールである「Airtable」と「Pory」を活用してシステム構築をおこなった。

Prologue of Flying Disc : <https://events.jfda.or.jp/>

- Flying Disc Times

フライングディスクにまつわる情報を記事形式にて配信している「Flying Disc Times」は、20 本の記事を配信。コロナ禍での情報流通を目的として開始した「フライングディスクの「ここが好き！」」は、日本中のフライングディスク関係者にオンライン形式にてインタビューをしていくもので、活動が難しい社会情勢においてもフライングディスクに対する興味関心を絶やさない企画として、特に好評を得ている。

Flying Disc Times : <https://www.jfda.or.jp/flyingdisctimes/>

4. プロモーション：協賛・協力・後援・パートナー

A) 協賛社

- 伊藤忠エネクス株式会社様：協会活動全体に対するご協賛。全日本選手権における社名告知等の他、コロナ禍におけるスポーツ活動促進の文脈より「#誰かに贈るディスク presented by 伊藤忠エネクス」にご協働いただき、17 都道府県 70 拠点に約 400 枚のフライングディスクを寄贈した。またこのプロジェクトは伊藤忠エネクス株式会社様の株主通信にも

掲載された。

- パシフィックコンサルタンツ株式会社様：協会活動全体に対するご協賛。全日本選手権における社名告知等の他、別途契約をしている「スポーツを通じた地方創生等の連携に関する基本協定書」に基づき、政府や自治体の政策に関する意見交換を実施している。

B) パートナー契約

- 南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会を組織する自治体及び和歌山県西牟婁振興局：2020年8月4日に締結した「スポーツを通じた地域振興に関する協定書」に基づき、継続的に意見交換を実施している。毎年全日本ビーチアルティメット選手権大会の開催に向けた項目をベースとしながら、将来的な国際大会再誘致や他スポーツの誘致支援等、スポーツを活用した地域振興の実績を積み上げている。
- VIVA ネットワーク株式会社：安心安全にスポーツを享受できる社会環境構築に資することを目的として、「スポーツ環境整備に関する基本協定書」を締結した。気候変動がスポーツ活動の継続リスクに成り得ると判断し、機能性スポーツアパレルを活用した暑さ対策によるスポーツ環境整備と定義した関係性にて、協働をしている。

<3-4. 総務：齋藤勇太理事>

1. 事務局業務の整理と効率化

事務所内倉庫とオンラインデータベースにおける文章保管区分の整理を実施し、保管性と検索性の向上を図った。協会内コミュニケーションツールとして slack の導入を進めた。以下の申請手続きについてノーコードツール「Airtable」を活用してシステム構築を行い、業務効率の向上を図った。

区分	対象
申請・報告	後援事業、協力事業、公認記録会、日本・世界記録、販売・広告許可 写真・映像使用許可、指導者派遣、GA 派遣
証明書発行	国内大会・国際大会成績、日本代表活動証明、技能検定、日本記録認定証
その他	経費精算申請、支払調書発行、各種返金申請

2. 経理業務の安定化

クラウド会計ソフト「freee」を継続運用しており、会計管理及び人事労務管理をおこなっている。今年度より新しく運用している勘定科目・会計区分に対応したシステム変更をおこない、ワンクリックでリアルタイムの財務状況を把握できるようになっている。また、経費精算の効率化を実施したことも、安定的な経理業務に寄与している。

3. 会員管理システムの運用とアップデート

「DNP スポーツ情報管理サービス」を継続運用しており、定期的なアップデート依頼と改修を進めている。本システムは、他中央競技団体での導入も進んでおり、競技を横断したプラットフォームとして発展してい

くことが予想される。

4. 事務局員勤務体制の一般化

複業パートナー制度の導入や業務区分（事業本部・管理本部）の整理を進めることで、業務範囲の明確化を進めている。

5. リモート勤務体制の構築

新型コロナウイルス感染症対策の文脈だけでなく、居住地域を問わない多様な人材確保を目的として、リモート勤務体制の基盤作りを進めている。具体的な対応策としては、以下の通り。ただし、リスク管理の観点より、出金業務については事務所内での対応としている。

区分	概要
eFax	コミュニケーションチャンネルの簡素化のため廃止した
オンライン受電ツール	受電記録を slack で受信し、リモート対応が可能となった
協会内申請手続き	申請窓口設置によりオンライン手続きが可能となった
押印	規程改正によりほぼ全ての発行書類で不要となった
電子署名	規程改正とツール導入により、議事録や契約を電子化した
行政手続き	e-Tax・eLTAX・登記ねっと・e-GOV によるオンライン申請が可能となった

決算報告書

第 9 期

自 2021年 04月01日

至 2022年 03月31日

一般社団法人日本フライングディスク協会

新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 901号室

貸借対照表

2022年03月31日 現在

一般社団法人日本フライングディスク協会

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	56,317,076	【流動負債】	2,311,966
現金及び預金	50,951,364	未払金	2,090,983
立替金	334,942	預り金	220,983
未収入金	5,030,770	【固定負債】	45,000,000
【固定資産】	1,853,813	長期借入金	45,000,000
有形固定資産	953,813	負債の部合計	47,311,966
工具器具備品	953,813	純資産の部	
投資その他の資産	900,000	【社員資本】	10,858,923
差入保証金	900,000	利益剰余金	10,858,923
		その他利益剰余金	10,858,923
		繰越利益剰余金	10,858,923
		純資産の部合計	10,858,923
資産の部合計	58,170,889	負債及び純資産の部合計	58,170,889

損益計算書

2021年04月01日 ～ 2022年03月31日

一般社団法人日本フライングディスク協会

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
＜ 競 技 会 収 入 ＞	53,502,510	
＜ 代 表 派 遣 収 入 ＞	1,360,312	
＜ 指 導 普 及 収 入 ＞	425,570	
＜ 入 会 金 ＞	2,440,000	
＜ 年 会 費 ＞	24,716,000	
＜ チ ー ム 登 録 費 ＞	4,660,000	
＜ 競 技 ガ バ ナ ン ス 収 入 ＞	65,000	
売 上 高 計		87,169,392
【売上原価】		
当 期 商 品 仕 入	47,717,009	
売 上 原 価 計		47,717,009
売 上 総 利 益		39,452,383
【販売管理費】		
販 売 管 理 費 計		23,745,678
営 業 利 益		15,706,705
経 常 利 益		15,706,705
【特別利益】		
＜ 協 賛 金 ＞	3,100,000	
＜ 補 助 金 ＞	200,000	
＜ 寄 付 金 ＞	10,000	
＜ 雑 収 入 ＞	122,130	
特 別 利 益 計		3,432,130
【特別損失】		
＜ その他 経 常 外 費 用 ＞	267,058	
特 別 損 失 計		267,058
税 引 前 当 期 純 利 益		18,871,777
【法人税等】		
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	70,000	
法 人 税 等 計		70,000
当 期 純 利 益		18,801,777

販売費及び一般管理費内訳書

2021年04月01日 ~ 2022年03月31日

一般社団法人日本フライングディスク協会

(単位：円)

科目	金額	
< 都道府県協会 >	4,342,000	
< 競技ガバナンス >	340,961	
< 経営企画広報 >	155,017	
< 用具 >	266,695	
< 一般管理費 >	18,154,609	
< 減価償却費 >	486,396	
販売管理費計		23,745,678

財産目録

第9期: 2021年4月1日～2022年3月31日まで

一般社団法人日本フライングディスク協会

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
< 流動資産 >	< 56,317,076 >	< 流動負債 >	< 2,311,966 >
現金及び預金	50,951,364	未払金	2,090,983
手許現金有高	14,400	競技会事業	1,190,053
普通預金(ゆうちょ銀行)	4,264,760	代表派遣事業	193,845
普通預金(みずほ銀行)	39,331,885	一般管理費	476,161
普通預金(三菱UFJ銀行)	7,340,319	クレジットカード	230,924
立替金	334,942	預り金	220,983
雇用保険料	33,186	所得税・住民税	220,983
世界大会(WU20)エントリー費	301,756	< 固定負債 >	< 45,000,000 >
未収入金	5,030,770	長期借入金	45,000,000
DNP決済代行(競技会・日本代表・年会費)	4,799,080	日本政策金融公庫	45,000,000
その他	231,690	負債の部 計	47,311,966
< 固定資産 >	< 1,853,813 >	正味財産の部	
工具・器具・備品	953,813	正味財産	10,858,923
映像関連機材・パソコン機器・什器	953,813	(うち当期正味財産増減額)	18,801,777
差入保証金	900,000	正味財産の部 計	10,858,923
協会オフィス保証金	900,000	負債及び正味財産の部 計	58,170,889
資産の部 計	58,170,889		

※三菱UFJ銀行は toto助成金用口座